

高崎水泳協会

創立年月日 昭和23年7月

住所 (会長) 高崎市上並榎町154-2 (事務局) 高崎市矢中町479

役員 会長 内田 康夫
副会長 猿谷 宝 池田 雄介 理事長 秋山 浩一 (事務局)

沿革 (高崎市の水泳の始まり) ◎江戸時代○高崎の人が水遊びとしてではなく、水泳を始めたのは記録によると江戸時代に高崎藩の武士が、武芸の一つとして行っていたようである。高崎藩の江戸の下屋敷内の水場池で、岡山県津山藩の神伝流水練師の植原六郎佐衛門から藩の若者や子供たちが指導を受けていたようであるが、本格的なものではなく、神伝流の日本泳法が伝わるまでにはなっていない。(「高崎藩近世史略」原教箸：明治26年刊行)

◎大正時代○大正10年6月22日高崎教育会主催烏川水泳場を開催(聖石橋上流40間より120間までの間)。河原に脱衣場を設け、練習生は赤・教師は水色・一般は白色の帽子を被らせ指導管理を行った。大正11年には皆勤者59名に賞状・賞品が渡された。しかし、大正15年以降は中止となり、その後、上信電鉄が開業して、鐺川に山名水泳場が開場し、親子づれの水遊び場として盛況であった。

◎昭和初期○昭和4年上信電気鉄道会社が山名町に鐺川をせき止め幅50m長さ200m余りのプールを開設した。翌年、近くに「水泳場前停留所」(西山名駅)を新設し、人気を集め、田中絹代・高杉早苗らの女優を招いたり盛況を極めたが昭和12年日中戦争勃発により閉鎖となった。

○昭和7年高崎の水泳が本格的に始まったのは、碓氷川八千代橋辺りのターニングボードを作り(小保方・諸岡・湯浅・相原諸氏)水泳練習を始める。やがて水泳愛好者の努力によって東三条通りの東京電力(株)高崎変電所わきの貯水池が練習用プールとして提供され、青年団の黒田・飯野の諸氏が練習に参加し、2月11日の紀元節が泳ぎ初めと決められ、厳冬の中、日向ぼっこしながら練習が続けられた。

○昭和13年前オリンピックの日本選手監督の松澤一鶴氏の指導により城南水泳場竣工(公認プール：50m7コース、スタンド・脱衣場等付属施設付)。[明治神宮プールを除いては関東には他に見られぬ公認プール]

・第1回高崎市民初歩者水泳大会(自由形100米、平泳50米、継泳400米)始まる

○昭和18年文部省、学校体育大会一切禁止

○昭和21年第1回高崎市民水泳大会(城南プール)始まる

○昭和22年日本水泳連盟全日本合宿が高崎で行われ古橋広之進・浜口喜博選手等城南プールで泳ぐ

(高崎水泳協会の設立) ○昭和23年7月に高崎水泳協会(会長：笹島彦次郎・理事長：宮下茂)が設立され、伊勢崎水泳協会・県高等学校体育盟と3団体で県水泳連盟を組織し、日本水泳連盟の

加盟団体として承認される

【左2人目：古橋広之進、右：浜口喜博、右：小島市長、右2人目：笹島彦次郎、右端：宮下茂】

・第1回高崎市内高等学校対抗水上競技大会(城南プール)始まる[高商優勝]

○昭和25年第1回高崎市内中学校水上競技大会(城南プール)始まる

・清水健(中央中学校)第1回全国中学水泳競技会100m自由形2位



○昭和26年北部水泳場が昭和町に開設（25m6コースプール、脱衣場等建物付）

- ・第1回日本水泳連盟級検定会（城南プール）
- ・高崎市営城南プール（50m7コース）再公認される
- ・第6回高崎市民水泳大会兼第1回水上カーニバル（城南プール）
- ・清水健（高崎高校）全国高校水泳競技会（天理）で100m自由形3位
- ・第2回日本水泳連盟水泳指導者検定会（城南プール）



【第1回市内中学水上競技大会】

○昭和27年国鉄海水浴列車臨時運転（毎日曜日：高崎↔大磯）

- ・清水健（高崎高校）栃木国体で100m自由形6位

○昭和28年・清水健（高崎高校）高知国体で100m自由形4位

○昭和29年・6月1日城南プール開き（水天宮に初水上げ無事故祈願後高工水泳部飛込）

- ・高崎水泳協会機関雑誌『飛魚』創刊号発行

○昭和31年・第11回高崎市民水泳大会兼第4回水上カーニバル[河童祭]（城南プール）男子小学生自由形25mより開始し、背泳、平泳、横泳、バタフライを終わってカーニバルに入る。パン食い競泳、抽選レース、高商生の仮装行列、模範泳法、西瓜取り、ミスター黒ん坊、等々にぎやかなうちに無事終了

・清水健（立教大3年＝中央小・中央中・高崎高校）第32回日本学生選手権水上競技大会兼オリンピック予選会（神宮プール）で100m自由形第3位・200m自由形第3位となりオリンピック出場決定



【市庁舎前垂幕・清水健君（中段・中央）を送る激励会】

- ・高崎水泳協会メルボルンオリンピック水泳選手・清水健君壮行会（中央公民館）
- ・清水健、第16回メルボルンオリンピックに自由形選手として参加し、800mリレー補欠選手となる。

・群馬県水泳連盟創立10周年記念表彰・板垣賞&勲功賞（清水健）、感謝状（田島辰次・宮下茂・関口善平・矢島明・水村傳・曾根誠・岸一郎・根岸省三・尾高一郎・北井柳太郎・浅見伊三郎・小島弘一・田中友次郎・中沢宗弥・井上房一郎・友松善三郎・田代猪之助・井野富治・村田宏吉・湯浅長栄・鈴木義雄・栗原達雄・石井鎮世・笹島彦次郎）を受ける

- ・高崎水泳協会機関雑誌『飛魚』第2号発行

○昭和32年・第7回群馬県都市親睦水上競技大会（前橋・岩神小）で総合初優勝

- ・高崎水泳協会機関雑誌『飛魚』第3号発行
- ・高崎水泳協会旗できる



【都市親睦大会総合初優勝】

○昭和33年第8回群馬県都市親睦水上競技大会（前橋・中央小）で総合2連覇

○昭和34年第9回群馬県都市親睦水上競技大会（桐生・東小）で総合3連覇

- ・第14回高崎市民水泳大会兼第7回水上カーニバル[河童祭]（城南プール）市民のお祭りである水上カーニバルの呼び物、黒ん坊コ



【都市親睦大会・2連覇】

ンテストに初めて女子多数の参加があった

・高崎水泳協会機関雑誌『飛魚』第5号発行

○昭和35年高崎水泳協会機関雑誌『飛魚』第6号発行

○昭和36年第1回日本水泳連盟競泳巡回指導会（北部プール）

・群馬県水泳連盟創立15周年記念式典、県水泳連盟最高記録賞（中島勝子・黒沢二八子）を受ける

・第16回高崎市民水泳大会兼第8回水上カーニバル[河童祭]（城南プール）四泳法競技・潜水・抽選レース・パン食い競泳・西瓜取り

・黒ん坊コンテスト・参加者35名

・高水協主催泳力強化陸上トレーニング方法伝達講習会（高商体育館50名受講）

・高崎水泳協会機関雑誌『飛魚』第7号発行

○昭和38年高崎水泳協会機関雑誌『飛魚』第8号発行

・第13回都市親睦水上競技大会（城南プール）で開催

○昭和41年群馬県水泳連盟創立20周年記念、群馬県歴

代十傑賞（清水健・桜井洋子・黒沢二八子・村上洋子・吉井昇）・感謝状（久保田宗一郎・住谷啓三郎・内藤由巳夫・大橋文夫・四十山善一・高崎第二中学校・宮下茂・石井鎮世・坪野良一・松井至郎・五十子俊雄）を受ける



【第13回都市親睦大会・城南プール】

○昭和44年高崎観音山フェアリーランドに流れるプールのカップピアがオープン

・朝日新聞主催水泳教室を城南プールで開催（5日間、市内及び県下小学生200名参加）

○昭和45年高崎市教育委員会主催の第1回水泳教室をカップピアで開催（5日間・小中学生200名参加）

○昭和48年高崎市営東部プールが台新田町に開設（25m7コース・更衣室棟等）

・群馬スイミングスクールが飯塚町に開校（高崎市内初の私設スイミングスクール）

○昭和49年第5回親子水泳教室（6日間）中級者水泳教室（10日間）を城南プールに移して開催

・県民体育大会夏季大会兼第24回都市対抗水泳競技大会（県営敷島プール）で総合優勝（4回目）

○昭和50年城南プールに幼児用プール増設（18.4m×8m）

・平田美恵（塚沢小）アジアGA水泳競技会（ソウル）で優勝

・高崎水泳協会が群馬県社会体育優良団体として県教育長賞を受賞

・平田美恵、第1回上毛スポーツ賞を受賞

○昭和51年城南プールに少年用プール（25m×13m）を増設

・県民体育大会夏季大会兼第26回都市対抗水泳競技大会（富岡市民プール）で総合優勝（5回目）

・平田明仁、第2回上毛スポーツ賞を受賞

○昭和53年平田美恵、全国中学校選抜水泳大会で200m個人トドレ3年連続優勝

・平田美恵、第8回アジア競技大会（バンコク）400m個人トドレ優勝

○昭和55年第1回婦人水泳教室（6日間）を城南プールで開催（定員40人）

○昭和60年第1回勤労者水泳教室を城南プールで開催（参加者11名）

○昭和62年群馬県水泳連盟40周年記念表彰・感謝状（石井鎮世・宮田貞治）、特別表彰（松澤睦）、表彰状（松井至郎・木村保三郎・小茂田猛・岡田弘・多胡豊・高橋日出夫・平野孝・五十子俊雄・猿谷宝・内田康夫・滝沢信子・須藤輝正・桜井道夫）を受ける

○平成元年県民体育大会夏季大会兼第39回都市対抗水泳競技大会（前橋市民プール）で総合優勝（6回目）

- ・前橋スイミングスクール高崎校、東貝沢町に開校
- 平成2年ナガイスイミングスクール高崎校、柴崎町に開校
- ・ジェルススポーツクラブ高崎スイミング、上中居町に開校
- 平成3年高崎イトマンスイミングスクール、筑縄町に開校
- ・サンピア高崎、プールを島野町にオープン

○平成5年群馬県水泳連盟45周年記念表彰・感謝状(松井至郎)、表彰状(松澤睦・宮田貞治・岡田弘・小茂田猛・野村まさ江・平野孝・石井鎮世・猿谷宝・五十子俊雄・吉井昇・小島一見・清水豊・坂井繁也・山崎隆夫・戸部博・内田康夫)を受ける

・県民体育大会夏季大会兼第43回都市対抗水泳競技大会(太田マウンドプール)で総合優勝(7回目)



【浜川プール開設：泳ぎ初め】

○平成6年浜川運動公園にプール(50m9コース・25m7コース・流水プール・滑り台プール)を開設、落成記念式典及び泳ぎ初め(式典：石井・五十子・坂井・平野・内田・山崎・戸丸・小茂田、模範泳：五十子・坂井・内田・山崎・戸丸・群馬スイミングスクール選手)



【浜川温水プール：泳ぎ初め模範泳】

・第49回高崎市民水泳大会を新設なった浜川プールに移して開催

○平成7年浜川運動公園に温水プール(25m6コース・幼児用プール)・トレーニングルームを開設、落成記念式典及び泳ぎ初め(式典：石井・平野・猿谷・五十子・吉井・山崎・内田、模範泳：五十子・山崎・石原・戸丸・小西・平野・吉井・内田・清水豊・野宮)

・第19回関東中学校水泳大会(浜川プール)開催

・第44回関東甲信越国立大学体育大会水泳競技大会(浜川プール)開催

○平成8年東日本医科大学体育大会水泳競技大会(浜川プール)開催

○平成9年群馬県水泳連盟創立50周年記念、感謝状(石井鎮世・群馬スイミングスクール・県央スイミングスクール・高崎イトマンスイミングスクール・ナガイスイミングスクール・ジェルススポーツクラブ高崎・高崎浜川プール)・功労章(松澤睦・五十子俊雄・猿谷宝・平野孝・須藤輝正・吉井昇・内田康夫・狩野茂巳・戸部博・山崎隆夫・小澤哲・野宮愛子・小西洋子・清水武夫・戸丸善光・池田雄介・清水豊・坂井繁也・坪野良一・小島一見)を受ける

○平成11年夏季一般大人水泳教室(5日間)を浜川温水プールで開催

○平成12年春休み児童水泳教室を浜川温水プールで開催

・都市対抗水泳競技大会50回記念功労者表彰(坪野良一)

・高崎水泳協会創立50周年記念式典・祝賀会(サンパレス)を挙げる

・高崎水泳協会：飛魚「創立50周年のあゆみ」記念誌を発行



【高崎水泳協会創立50周年記念式典】

○平成13年県民体育大会夏季大会兼第51回都市対抗水泳競技大会(高崎浜川プール)で総合優勝(8回目)

○平成15年県民体育大会兼第53回都市対抗水泳競技大会(県営敷島プール)で総合優勝(9回目)

・秋季土曜児童水泳教室(5日間)を浜川温水プールで開催

○平成16年第35回初心者水泳教室(5日間3回)を浜川温水プール・城南プールで開催

・県民体育大会夏季大会兼第54回都市対抗水泳競技大会(前橋敷島プール)で総合優勝(10回目)

・冬季土曜児童水泳教室(5日間)を浜川温水プールで実施(27名参加)

○平成17年群馬県水泳連盟60周年記念表彰、感謝状(松澤睦)・感謝状(高崎トマンズスイミングスクール・群馬スイミングスクール・県央スイミングスクール・パーフェクトスポーツプラザ・ジェルスイミングクラブ高崎

・カニスウィミングスクール)・功労者表彰(岡田昭・設楽登美子・小茂田猛・須藤聡・内田康夫・吉井昇・猿谷宝・嶋田英一・戸丸善光・須藤輝正・坪野良一・山崎隆夫・清水豊・戸部博・平野孝)を受ける

○平成19年第38回初心者水泳教室(5日間4回)を浜川温水プールで開催

・高崎水泳協会が日本水泳連盟「優秀団体表彰」を受賞

○平成20年・内田翔(法政大3年・群馬スイミングスクール所属)第84回日本選手権水泳競技大会200m自由形2位(北京オリンピック出場決定)

・内田翔選手・小茂田猛コーチ：第29回北京オリンピック出場(4×200mリレー[2泳]日本新記録で7位入賞・200m自由形[予選敗退])

・第58回都市対抗水泳大会兼県民体育大会(前橋敷島プール)で総合優勝(11回目)

・内田翔、群馬県スポーツ栄誉賞を受賞

・高崎水泳協会創立60周年記念式典・表彰式・祝賀会をエテルナ高崎で挙

・高崎水泳協会：飛魚「創立60周年記念誌(創立51年からの10年のあゆみ)」を発行

○平成21年・第85回日本選手権水泳競技大会内田翔(200m自由形1位・400m自由形2位・800m自由形2位)

・第25回ユニバーシアード(ベオグラード)夏季大会で内田翔200m自由形1位・4×200mリレー1位、貴田裕美(7ルック群馬)800m自由形2位・1500m自由形1位・第13回世界選手権水泳大会(ローマ)で内田翔200m自由形4位[日本新記録]・4×200mリレー4位

・県民体育大会夏季大会兼第59回都市対抗水泳競技大会(前橋敷島プール)で総合優勝(12回目)



【第29回北京オリンピック高崎市壮行会】



【高崎水泳協会創立60周年記念式典】



【第59回都市対抗水泳大会】

○平成23年・東日本大震災発生(3/11)で計画停電・ガソリン不足の為、4/18まで浜川温水プール使用停止
 ・第26回ユニバーシアード(中国深圳)夏季大会で福田智代(群馬高崎)200m個人メドレー4位・100mバタフライ3位・4×100mメドレーリレー3位、大塚一輝(群馬高崎)200m平泳ぎ3位・100m平泳ぎ13位・50m平泳ぎ27位、内田翔(群馬ヤクルト)4×200mリレー2位・400m自由形3位・200m自由形3位



【第66回高崎市民水泳大会開会式】

・第66回高崎市民水泳大会(浜川プール：小学生153名・中学生75名・高校生7名・一般98名の計333名参加)、ゲスト内田翔(銀1銅2)・貴田裕美・大塚一輝(銅1)・福田智代(銅2)の4名がユニバーシアード大会メダルをかけて開会式で激励挨拶し、大塚一輝が50m平泳ぎ模範泳を披露



○平成24年・貴田裕美(ALSOK 群馬)オープンウォーター【第30回ロンドンオリンピック高崎市壮行会】五輪世界最終予選会(ポルトガル：セチュバルで13位でオリンピック出場決定=日本人初代表)

・第30回ロンドンオリンピック女子10kmオープンウォーター(ロンドン：ハイドパーク)で貴田裕美2時間00分20秒0で先頭から1分20秒9遅れの13位/24名で完泳
 ・県民体育大会夏季大会兼第62回都市対抗水泳競技大会(前橋敷島プール)で総合優勝(13回目)
 ・第67回高崎市民水泳大会(浜川プール：小学生168名・中学生117名・高校生16名・一般103名の計401名参加)、ゲスト内田翔・貴田裕美2名が開会式で激励挨拶と50m自由形模範泳を披露

○平成25年・貴田裕美、第15回世界水泳選手権大会(バルセロナ)オープンウォータースイミング女子25km8位入賞[5時間16分25秒7]日本人初入賞

・県民体育大会夏季大会兼第63回都市対抗水泳競技大会(前橋敷島プール)で総合優勝(14回目)
 ・第68回高崎市民水泳大会(浜川プール：男子201名・女子130名の計331名参加)ゲストで内田翔が開会式で激励挨拶と50m自由形模範泳を披露、高崎経済大学水泳部38名・農大二高水泳部6名・高商水泳部2名が競技役員で協力を実施

○平成26年度・高崎市体育協会スポーツ講演会(お世話な高崎：水泳・宮下純一氏「出会いに感謝～思い続けたオリンピック～[5歳から水泳を始めてから北京オリンピックで400mメドレーリレーで銅メダル獲得するまでの20年間の話]」参加者279名

○平成27年度・第70回高崎市民水泳大会(浜川プール、参加者：男子217名・女子125名の計342名)高崎経済大学水泳部31名役員協力で気温22.0度・水温23～24度と一日中雨で肌寒い中実施し、大会記録12種目出る。70回記念として小学生～高校生種目1位者に橙色オープンシャツを贈呈。昼休み敷島シンクロ7名によるシンクロの演技と男女別日焼け比べ大会を実施

歴代会長 第1代：笹島彦次郎(S23年～S25年)、第2代：関口善平(S26年～S27年)、第3代：井上房一郎(S28年)、第4代：友松善三郎(S29年～S33年)、第5代：四十山善一(S34年～S43年)、第6代：末村啓治(S44年～S52年)、第7代：浦野泰行(S53年～S60年)、第8代：石井鎮世(S61年～H9年)、第9代：岡田昭(H10年～H20年)、第10代：内田康夫(H21年～現在)

(文・写真：責=内田康夫)